

令和3年度第2回岐阜県海岸漂着物等対策推進協議会 議事要旨

1 日時

令和3年10月29日（金） 10:00～11:10

2 場所

ウェブ会議（一部委員は岐阜県議会棟東棟2階 第3面会室において参加）

3 出席者

佐治木委員、千葉委員、伊藤委員、佐藤委員、酒向委員、神原委員、奥村委員、坂井田委員、朝田委員、松久委員、岩田委員、高橋委員、中島委員、野口（オブザーバー）、小林（オブザーバー）、野原（オブザーバー）

4 欠席者

大藪委員、宇野委員、

5 事務局

内木環境生活部長、青竹環境生活部次長、井戸廃棄物対策課長、市橋資源循環推進監、上野資源循環推進係長、神谷産業廃棄物係長、坂井田一般廃棄物係技術主査、西本資源循環推進係主査、坂口資源循環推進係主任

6 議題及び会議の概要

(1) 「(仮称) 岐阜県海岸漂着物等対策地域計画」の素案について

資料1-1及び1-2により事務局から説明（略）

(奥村委員)

今回策定の背景は、海なし県である岐阜県が河川から海をきれいにしようというものであるが、指標や評価に他県の目線がないように感じる。

本県の取組が他県の海の状況などにどう変化を及ぼしたのか、難しいとは思いますが指標の中に加えて県民に知らせていただけると、計画の一連の目的が落とし込めるロジックになると思う。

また、モデル地域について、長良川流域が選定されていないがいかかがか。

(事務局)

1点目として、他府県との連携について指標の中に加えるなどご提案をいただいた。

南側の愛知県、三重県については、既に海岸漂着物等対策地域計画を作っており、今年度、本県が計画を策定した後、3県揃った形で進めていけるよう、伊勢湾を取り囲む県で連携した計画の検討に入っている状況

また、北側の富山県や福井県についても情報交換を進めているところで、例えば福井県については、海岸の清掃活動時の情報交換など調整を開始しているところ。

今後、周辺県と連携を図り、例えば協議会でのご紹介や環境ポータルへの掲載など工夫する。

2点目として、モデル区域に長良川もという提案をいただいた。長良川は地域を流れる川で、特にダムもないというような特徴もあり、県民からも様々な思いを持っていただいている川だと認識している。

長良川が流れている複数自治体とお話をさせていただいたが、本年度は短期間での

調整というのが実情。計画に記載のとおり、今後、継続して市町村と情報交換をしながら引き続き新しい区域設定にも取り組む。

(奥村委員)

そもそも、なぜ長良川がこのモデル地区に含まれていないのか。

(事務局)

長良川周辺の複数自治体と意見交換する中で、行政や住民の中で海洋ごみに対する課題認識がまだ薄いといった考えもあり、自治体の意見として、現状以上にモデル的な取組を行うには至らなかったという実情がある。

環境分野においても各自治体が様々な課題認識をして課題に取り組んでいる中、他の対策と比較して優先的な位置付けにはならないと判断された自治体もある。

また、河川の利用が進んでいく中で、今後海洋ごみといった観点も検討していきたいといった自治体もある。

このように各自治体と打ち合わせの上、今後の予定や考えの聞き取りも踏まえ、今回の計画策定時においては二市町になった。

(佐治木座長)

やはり、この計画をなかなか理解していただけてない部分がある。これからこの計画をいかにアピールしていくか。特に SDGs の未来都市に選定された岐阜市など、今後理解をいただかないといけないだろうと思う。

(高橋委員)

計画期間は令和4年度から12年度の9年間で、令和7年度に中間見直しとあるが、検証を考えると令和8年度ではないかと思う。

また、48頁の表では、海岸漂着物が現在どれだけあって、この計画でどれだけ減ったか見える指標がない。例えば環境省が公表している漂着ごみの回収量なども指標に加えてはどうかと思う。

(事務局)

中間見直しの時期については、計画期間を廃棄物処理計画にあわせて9年間としたことから、中間の見直しも廃棄物処理計画と合わせたタイミングで行う。

また、指標については、今後隣接県と意見交換する中で検討する。

(佐治木座長)

先ほど申し上げたように、この計画がなかなか普及してきていない。ポータルサイトでのこれからの広報活動が非常に重要。

もう一点、先ほど海なし県とあったが、まさに岐阜県はそういう位置付けであり海洋汚染といっても中々ピンとこない方々がいる。そこで、計画の中に、海洋ごみ対策を行えば、岐阜県を流れている河川が美化されていく、そして当然、観光や産業、漁業にも影響が出てくるというニュアンスを盛り込んで県民に分かっていただけるようになれば、普及しやすいと考える。

高山市は古い町並を保持するという含めて、河川、それから海洋ごみを考えている。そういう観点で捉えていただけるような普及活動が大切。

(佐藤委員)

海なし県の我々が果たすべき責任と併せて、享受できるメリットを示していくこと

が、より多くの県民ムードにつながる。その視点で計画素案を見たときに、漂着ごみのうち灌木や流木などの自然物が6割から9割と圧倒的多数を占めており、県民一人一人の努力で何とかならない部分が多いと受け止められてしまっは、モチベーションが上がっていかない要因になりかねない。

自然物については別の計画でしっかり対処していくということも示しながら、私たちができる取り組みとして、それ以外の生活ごみやレジヤーごみ、プラスチックごみを減らしていくということ、県民の全ての世代に、学校教育も含め落とし込んでいくことで、この計画が生きたものになる。

(事務局)

ご指摘のとおり、自然物は一人一人の県民の力ですぐ何かできるといったような部分の中々見えにくいということも承知しており、生活ごみや不法投棄、あるいはレジヤーごみへの取り組みを進めていくというメッセージについて、今後、環境ポータルを活用してうまく伝えるように進めていく。

(佐治木座長)

もう1点、千葉委員に提供いただいた漂着ごみの写真は非常にインパクトがある。先ほど県民にもPRが必要とあったが、差し支えない範囲で岐阜県からもこういうごみが流れているという情報を加えるとインパクトがすごく変わると思う。千葉委員、いかがか。

(千葉委員)

ライターの情報など環境省が集めたデータは表示できると思うが、私が撮った写真では、例えば岐阜県の企業名が入ったようなものが多く、それを出すとその企業が流したんじゃないか、みたいなことになってしまうかなど。岐阜県に住所がある会社のプラスチックの箱であるとか美濃市の橋に掛かっていた看板が流れ着いた写真もある。対応できるかどうか検討して、提供することができると思う。

(坂井田委員)

NPO 法人長良川環境レンジャー協会は、桑名市のNPO 法人木曾三川ごみの会のごみ拾いに月1回ほど参加している。その中で集めたごみの中に、明らかに岐阜県から来た看板があった。岐阜県から流れているということは事実。

(事務局)

11頁写真の横にも、文言で「下流県の海岸に漂着したプラスチックごみの中には、本県が発生源と推測されるものも確認されています」と記載している。千葉委員指摘のとおり、企業名など特定できるような形では適切ではないと考えており、もう一度内部で検討させていただきたい。

(奥村委員)

この地域計画では、岐阜県が海なし県で、川でつながっている海の環境を良くしましょうといった骨子の中で考えているが、そもそも県民の1人として考えるならば、私たちの身近な環境がより良くなって、経済が活性化され、それが地域を取り巻く他県に波及して、そして海がきれいになっていくという広がりの中で理解ができるもの。

遠くの海の話は中々考えられないが、流域圏の魚の状態がどう変わってきているのかなど海の恵みで経済を回している方の声が上がってきてもいい。

(事務局)

今後、啓発ツールの一つとして、環境ポータルの中でそういった情報を皆さんに伝えていくということもある。内部で検討させていただく。

(佐治木座長)

議論いただいた計画案について今後の修正は事務局と私に一任いただくということよろしいか。

異議なし

(2) 地域計画の名称(案)について

資料2により事務局から説明(略)

(千葉委員)

本題案はお任せするが、副題案は案1の「山、川、海」をつないでいるというところがいい。

(坂井田委員)

本題案について、1番の「清流の国ぎふ海洋ごみ対策地域計画」がいい。岐阜県は「清流の国ぎふ」を掲げており、清流長良川もある。副題も含め、案1がいい。

(佐治木座長)

「清流の国ぎふ」という言葉は、岐阜県である以上入れたいと思う。

また、「山、川、海をつなぐ私たちの清流を次の世代へ」には川自体も、川の美化も守られていくという意味が含まれているので、案1がいい。

(佐藤委員)

本題、副題とも案1がいい。ただし岐阜と海洋ごみはくっつけると馴染みが無い言葉になるので、表現上の工夫をするといい。

(事務局)

本日ご欠席の大藪委員の方からご意見を賜っているので披露させていただく。

キーワードとしては、平仮名のぎふや、海なし県が分かりやすくいい。また、山、川、海をつなぐといったフレーズや、清流といった言葉を入れるといいのでは、といった意見をいただいた。

改めて座長とご相談の上、計画の名称についてまとめていきたい。

(佐治木座長)

名称について協議会の意見として事務局と私に一任いただくということよろしいか。

異議なし

(3) 今後のスケジュールについて

資料3により事務局から説明(略)

質疑・意見なし